

令和4年度公益活動事業補助金 交付決定内容

(単位:円)

No.	コース	事業分野	団体名	決定	事業名/事業概要(申請書類から転記)	事業費総額	補助金申請額	決定額	交付条件/不交付理由
1	テーマ設定型事業コース	にぎわいの創出や魅力づくりに寄与する事業	ふれあいステーションほっと運営委員会	交付	<p>事業名: オンラインを活用した地域コミュニティ活性化事業</p> <p>事業概要 当委員会は、年齢、性別、障がいの有無を問わず、市民を対象にだれでも気軽に集い楽しむ、互いに支え合える居場所づくりを通して共生社会の一助となるよう市民ボランティアによって健康維持、生きがい、自主学習事業を企画・運営している。 感染対策による自粛や臨時閉館で各種事業への参加を見合わせ自宅ですごしていることで生活上の潤いも減少した。このことからオンラインを活用しハイブリッド方式の運営による事業を展開することで、家庭にいながらにして事業に参加できることとなり、以前とは同様とはいかないものの生活の質の向上に繋がられるものと予想される。また画面越しであるが参加者同士の交流にも繋がり、ウィズコロナにおける新たなコミュニティの創出に大きく寄与すると期待できる。</p> <p>実施方法 市民を対象に健康維持を目的としたストレッチングや運動、趣味の音楽、習慣づけの学習支援など各種主催講座を「ふれあいステーションほっと」がホストとなり発信して自宅で受講していただく。来所し受講される方と自宅で受講が可能なハイブリッドで開催する。また、外部の情報を受信し講座内での教材としても活用を図る。</p>	46,750	31,000	29,000	オンライン環境のない方や不慣れな方へ十分な配慮と対応(フォロー)をすること。 様々な場面において積極的に活用すること。
2	テーマ設定型事業コース	にぎわいの創出や魅力づくりに寄与する事業	一般社団法人 北海道きたひる観光協会	交付	<p>事業名: 北広島市の新たな食(グルメ)の開発事業</p> <p>事業概要 事業テーマは「ボールパーク開業を好機に市内事業者が協働し、食(グルメ)で地域の活性化と魅力の向上を目指す」。 現在、市内では、地域に密着した飲食店等が地場農産物等を使った商品の提供など、経営努力。工夫を重ねながら来訪者や市民の食をさせている。 一方、観光視点で見ると、観光客の満足度を高める北広島ならではの食(グルメ)が不足していると感じる。それは、地域が一体となった食の提供、所謂、北広島ならではの当地グルメがないことにある。 本事業の目的は、新たに北広島の食(グルメ)を開発・商品化することであり、その実現にあたっては、特定の飲食店で提供される希少性を狙うのではなく、市内のいたるところで、その食(グルメ)に出会える環境をつくることにある。 北広島の食(グルメ)の認知度を高め、観光客や市民に訴求させることで、経済への波及とともに、地域の活性化や賑わいの創出、魅力向上にも寄与することになる。</p> <p>実施方法 商工会や料飲食店組合、宿泊事業者等と連携体制を構築し、フードコーディネーターや全体をブランディングする専門家の知見を得て、事業コンセプトを確認しながら進める。メディアを活用した情報発信等により、参画事業者の拡大を図り、市民を対象とした試食会の開催により、まち全体の機運を盛り上げながら商品化を図る。</p>	652,000	400,000	371,000	スケジュールを厳守すること(今年度内の商品化)試作品検討段階から市民参加を求める。 日本ハムファイターズ・赤毛種関連でない、地域の資源を活用すること。